

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 東ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	令和4年6月20日	評価結果市町村受理日	令和4年10月14日

ご利用者様がそよ風での暮らしが日常となり楽しく過ごして頂けるような環境作りを心掛けております。利用者様ファーストを忘れず、毎日の業務にならないように気をつけております。現在もコロナ禍で外出もままならないですが、季節を忘れないよう毎月の行事を行ったり、近所まで散歩に行ったりしております。日々、体操や歌を唄ったり塗り絵をしたりと楽しい日々をすごしていただけるよう取り組んでおります。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&gyouyoQd=2192100234-00&ServicQd=320&Type=search
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は、職員の意見を傾聴することで意見を言いやすく、働きやすい職場となるように心掛けている。決められた献立はあるが、利用者の好みや要望を聞いて、うなぎや散らし寿司、茶碗蒸しなどを提供している。職員は、季節の食材を使い彩り良く盛り付けたり、利用者と一緒におやつを作ったりして楽しめるよう取り組んでいる。コロナ禍でも1階の空きスペースを活用して面会を継続している。従前のかかりつけ医の受診は家族が同行している。職員は、受診の結果を確認して協力医に報告し、終末期も支援出来るように取り組んでいる。職員間で話し合い、利用者とも目線を合わせ、笑顔で話し穏やかに過ごすことができるように取り組んでいる事業所である。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年8月26日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

osite

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営			wo		
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	【その日、その瞬間 悔いのない介護をしよう】センター独自の理念のもと日々の業務に取り組んでおります	管理者は、会議で目線を合わせて笑顔で接するように説明している。日頃から気になったことは直接職員に伝えている。職員は、利用者のペースに合わせてイヤな思いをさせないような言葉掛けや対応を心掛けている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在はコロナ禍で交流は中止しておりますが、近所の西小学校や保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています	散歩の時や寺院の参拝時に声を掛けられて会話している。自治会に加入し回覧板で地域の情報を得ている。コロナ禍前は、小中学生が事業所を訪問したり、地域の行事に参加したりして交流していた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のときの何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもしていただける様努めています。最近も裏のお寺に散歩に行った時、そよ風さんやね、いつでも来て下さいとお声掛けいただきました		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は、センターでの会議は行っていないが、地域包括センターの職員、民生委員さん家族の方に隔月の開催月に利用者様の様子の新聞と共に、行事等の内容をお送りさせていただいている	定期的に書面で事業所の現状や活動内容などを報告している。事業所を訪問した家族には会議について意見を聞いているが、他のメンバーに意見等を聞くことが出来ていなかった。	事業所の活動報告のみで終わらず、より多くの意見やアドバイスを聞けるような体制を構築し、事業所運営に活かせるよう取り組んで欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力を築くよう努めております	事故報告書の提出や運営に関して分からないことは市の担当者を訪問して事業所の状況を伝えて助言を受けている。管理者は市の担当者と協力関係が築けるよう小まめに連絡することを心掛けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります	毎月の全体会議でスピーチロックなど具体的な身体拘束について話合っている。本社から拘束や虐待について講師を招き、学ぶ機会を作っている。全体会議に出席した職員で委員会活動を行っているが、記録が確認できなかった。	事業所は2階建ての2階部分にある。1階は営業していないため玄関を施錠している。委員会の取り組み方や施錠について再考を期待する。委員会について記録に残すようにして欲しい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。毎月の全体会議でも報告、情報共有しております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧できるように整備されております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解はいただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております	毎月、家族に写真付きの便りを送付し生活の様子を伝えている。コロナ禍でも1階の空きスペースを活用して面会を実施している。面会時や遠方の家族には電話で近況を伝えて意見を聞いている。家族から一緒に外出したいと要望があり受け入れている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております	管理者は、職員の意見を傾聴することを心掛けて言いやすい環境作りを心掛けている。全体会議の後にユニット会議を行い職員に意見を聞いている。行事の内容や衛生面、環境面の改善など職員の意見を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で2ヶ月に1回行われるGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有など行っております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供ができるよう努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安等、利用者様を入居させるにあたっての、家族様の想いなどを傾聴し信頼関係に努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービス等、選択肢を提案することで、その方に本当に必要としている物は何か、対応に努めております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知りえなかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様とともに支えになれるようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在はコロナ禍で規制があるものの、緩和されれば、その都度、馴染みの方との面会など関係が途切れないよう支援を行っております(家族様より面会制限要望がない場合)	コロナ禍前は、利用者の友人が家族に聞いて面会に来ていた。家族からSNSでの面会の希望があり、得意な職員が対応している。携帯電話を持っている利用者には職員が使い方など支援している。利用者から希望があり馴染みの喫茶店に職員と一緒に出掛けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと、利用者様同士の関わりはできているように思います		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れていますが、最近、退去された方よりスタッフやご利用者様宛にお手紙を下さった方がおられます		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています	リビングで過ごしている時や入浴時に思いや意向を聞いている。利用者の動作や表情などの変化を見逃さず職員から声を掛けて聞くこともある。困難な場合は、声掛けを工夫して表情やしぐさから把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録、申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております	家族の面会時や電話で利用者の状態を伝えて計画への意向を聞いている。モニタリングや連絡ノート、家族の意向を全体会議で話し合い職員のアイデアを反映して計画を作成している。状態の変化に伴いその都度計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を行っております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応をしております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナで保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験は実施しておりません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました	従前のかかりつけ医を受診する場合は家族が同行している。職員は家族に受診の結果を確認して協力医に報告している。急に状態が変化した場合は事業所から家族へ連絡して協力医と連携しながら対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております	契約時に事業所の方針を家族に説明している。状態の変化に伴い、協力医より家族に意向を確認している。職員は、家族と相談しながら面会や宿泊など意向に添えるように取り組んでいる。職員は、訪問看護ステーションの職員より個別の対応方法などを学んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などは行っていますが、実践が伴わない職員もいるのが現状です		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様をお願いに上がり、了承いただきました	2階からの避難方法やシミュレーションなど工夫して定期的に訓練を行っている。食糧や飲料水、備品など備蓄している。近隣の方に協力をお願いし承諾を得ているが、訓練等への協力が得られていない。	事業所から地域の情報を発信して、災害時に地域の方の協力が得られるような取り組みを期待する。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます	管理者は、全体会議や気付いた時に声の掛け方や対応について話している。職員は、利用者の気持ちを考え、ペースに合わせて対応することを心掛けている。トイレ誘導時は耳元で声を掛けたり、部屋に入る時はノックしたりプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながら洋服を選んで頂いたり、自分で選んで頂いたりしております。ご自分で選べない方は職員が選んでおります		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております	献立は決まっているが、うなぎや散らし寿司、茶碗蒸しなど利用者に食べたい物を聞いて提供している。利用者と一緒にご焼きやホットケーキ、かき氷など作っている。職員は、季節に応じた食材を彩りよく盛り付けて楽しめるように心掛けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
42		orino 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方もおります。オムツ使用の方もおられます	事業所として出来る限りオムツを使用しないように心掛けている。職員は、排泄パターンを把握し、その日の体調も考慮してトイレに誘導している。夜間は、利用者の状態に合わせて介助することを心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握をして声掛けを行うと共に、簡単に体を動かしていただける、体操等に参加して頂く事で予防を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できる様心がけております	入浴回数は決まっているが、必要に応じて曜日を変更することもできる。入浴剤やしょうぶ湯、ゆず湯など楽しめるように工夫している。嫌がる方には無理強いせずに時間や人を変えて声を掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行っていると思っております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。現在はコロナ禍で規制があるものの、緩和されれば、その都度、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えし協力頂いております	事業所から利用者の意向を家族に伝えて自宅や墓参りに出掛けている方もいる。家族から「陽気が良いので公園で弁当を一緒に食べたい」と要望があり一緒に出掛けている方もいる。急に外出を希望される方は、職員と一緒に散歩に出掛けている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っていません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境作りに心がけております	七夕には利用者の願い事を短冊に書いてリビングに飾るなど季節が感じられるように取り組んでいる。懐かしい昭和の音楽を流して利用者は好きな歌を口ずさんでいる。利用者の家族が持って来たジグソーパズルをしたり、雑誌を読んだり好きなことができるように支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただける様、支援させて頂いております	馴染みの布団やクッション、椅子やテーブルを持ち込んでいる。お気に入りのぬいぐるみを持って来て抱っこしている方もいる。家族の写真や賞状、昔作った刺繍、花など飾って居心地の良い居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 西ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	令和4年6月20日	評価結果市町村受理日	令和4年10月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosvoOd=2192100234-00&SerVi.ceOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年8月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念(私たちは、世界一のしあわせ創造企業を目指します)は毎月の全体会議にて確認しています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在はコロナ禍で交流は中止しておりますが、近所の西小学校や保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のときの何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもしていただける様努めています。最近も裏のお寺に散歩に行った時、そよ風さんやね、いつでも来て下さいとお声掛けいただきました		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は、センターでの会議は行っていないが、地域包括センターの職員、民生委員さん家族の方に隔月の開催月に利用者様の様子の新聞と共に、行事等の内容をお送りさせていただいている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力を築くよう努めております		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。毎月の全体会議でも報告、情報共有しております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧できるように整備されております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解はいただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で2ヶ月に1回行われるGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有など行っております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供ができるよう努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安等、利用者様を入居させるにあたっての、家族様の想いなどを傾聴し信頼関係に努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービス等、選択肢を提案することで、その方に本当に必要としている物は何か、対応に努めております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知りえなかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様とともに支えになれるようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在はコロナ禍で規制があるものの、緩和されれば、その都度、馴染みの方との面会など関係が途切れないよう支援を行っております(家族様より面会制限要望がない場合)		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと、利用者様同士の関わりはできているように思います		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録、申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を行っております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応をしております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナで保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験は実施していません		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などは行っていますが、実践が伴わない職員もいるのが現状です		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様をお願いに上がり、了承いただきました		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないよう心掛けていきます		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながら洋服を選んで頂いたり、自分で選んで頂いたりしております。ご自分で選べない方は職員が選んでおります		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方もおります。オムツ使用の方もおられます		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握をして声掛けを行うと共に、簡単に体を動かしていただける、体操等に参加して頂く事で予防を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できる様心がけております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行えていると思っております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。現在はコロナ禍で規制があるものの、緩和されれば、その都度、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境作りに心がけております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただける様、支援させて頂いております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		